

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	水洗化促進事業	会計	下水道	事業No.	302	施策順No.	45-012
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-2-1-10-2		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	下水道課		
施策	45 居住基盤の向上			事業期間	開始	7	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	下水道普及区域内で下水道に接続していない市民と事業所。						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない					
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)											
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度							
		下水道普及区域内の戸数 (戸)(公共・特環・農集排) A							31172	32351	32728	33155	33186
意図	下水道への接続を促進する。												
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)						19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	下水道普及区域内の下水道接続済戸数 (戸)(公共・特環・農集排) B						26777	27208	28081	28778	28912	29171	A
	接続率 B/A %						85.9	84.1	85.8	86.8	87.2	87.9	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	第5次飯田市下水道整備基本計画に基づき、25年度までに市民皆水洗化を達成するための22年度目標は達成した。												

2 手段(具体的な取組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	公共下水道・特定環境保全公共下水道区域内で下水道工事施工済みエリア内の下水道へ接続していない市民及び事業所に対し、広報や訪問等により水洗化の必要性を説明して、啓発折衝を行い下水道への接続を推進する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 下水道施工済み区域内で下水道への未接続世帯へ訪問し、水洗化促進について説明を行った。 2 下水道本管工事の説明会において、地区下水道事業推進委員会等の協力をいただき水洗化の必要性を説明して、早期の下水道接続を促進した。 3 受益者負担金の説明会において、地区下水道事業推進委員会等の協力をいただき水洗化の必要性と負担金について啓発を行った。 4 市の広報、マスコミ(FMいいだ等)を利用した啓発、まちづくり委員会等に働きかけ、施設見学会などを行い、広く水洗化の普及を行った。 5 下水道施工済み区域内の未接続世帯を対象としたアンケート調査を行い、未加入世帯の水洗化促進を行った。	1 下水道訪問戸数 2 工事説明会 3 受益者負担金説明会 4 その他PRの機会 5 アンケートの送付	1 2,290 戸 2 8 回 3 11 回 4 12 回 5 657 世帯
23年度実施計画	1 下水道施工済み区域内で下水道への未接続世帯へ訪問し、水洗化促進について説明を行う。 2 下水道本管工事の説明会において、地区下水道事業推進委員会等の協力をいただき水洗化の必要性を説明して、早期の下水道接続を促進する。 3 受益者負担金の説明会において、地区下水道事業推進委員会等の協力をいただき水洗化の必要性と負担金について啓発を行う。 4 市の広報、マスコミ(FMいいだ等)を利用した啓発、まちづくり委員会等に働きかけ、施設見学会などを行い、広く水洗化の普及を図る。 5 下水道施工済み区域内の未接続世帯を対象としたアンケート調査を行い、未加入世帯の水洗化促進を図る。	1 下水道訪問戸数 2 工事説明会 3 受益者負担金説明会 4 その他PRの機会 5 アンケートの送付	1 1,500 戸 2 10 回 3 10 回 4 5 回 5 700 世帯

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		300	66	3,904		
計 (A)		300	66	3,904		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)			0			
トータルコスト A+B			66			

4 事業に対する市民や議会の意見

水洗化(下水道への接続)促進は、多額の資金を投入して建設する下水道の効果を最大限発揮するためにも必要不可欠という意見が多い。(議会や各地域づくり委員会等より)

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞り者、事業者の生活・事業に必要な基盤が整う。	施策の成果指標又はムトス指標	居住基盤の満足度(%) 下水道の普及率
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	・広報等による啓発及び、下水道課職員全員による期間をきめた水洗化戸別訪問と年間を通した下水道促進専門員の水洗化戸別訪問により、下水道加入を促進した。		
	後期に向けた課題	・少子高齢化・人口減という急速な社会情勢の変化や不安定な経済状況のため、多額の費用負担を要する各家庭から下水道への接続が、計画通り進まない現状がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	・下水道工事説明会、受益者負担金説明会で直接市民に働き掛けて、下水道接続に理解を得るようわかりやすいパンフレットの作成や丁寧な説明を心がけた。 ・毎年「広報いいだ」で、特集号を発行して啓発を行う他、FMラジオやケーブルテレビを活用した啓発にも取り組んでいる。		
	後期に向けた課題	・宣伝効果の有るFMラジオやケーブルテレビを利用した継続的な、広報を行う必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	・パンフレットをリグラフで作成した。 ・飯田市のFMラジオやケーブルテレビなどの広報番組を利用することで、宣伝コストが掛からないようにしている。		
	後期に向けた課題	・効果的なパンフレットの作成等を行い、水洗化促進に結びつけるようにする。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・下水道普及促進のため、市が積極的に働きかける必要がある。		
	後期に向けた課題	・市が積極的に関与を行い、水洗化を図れるような促進方法を検討する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①主体は各地区まちづくり委員会で、水洗化事業の理解を得ることによって市に協力をいただいた。 ②各地区まちづくり委員会と打ち合わせを行い、円滑な説明会を行っている。		
	後期に向けた課題	・下水道の普及促進は、まちづくり委員会の理解と協力が必要であり、引き続き連携を図る必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・広報や訪問推進をして下水道に接続していただくには、戸別に時間を掛けた取り組みが必要である。		
	後期に向けた課題	・少子高齢化・人口減という急速な社会情勢の変化や不安定な経済状況のため、多額の費用負担を要する各家庭から下水道への接続が、計画通り進まない現状がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------